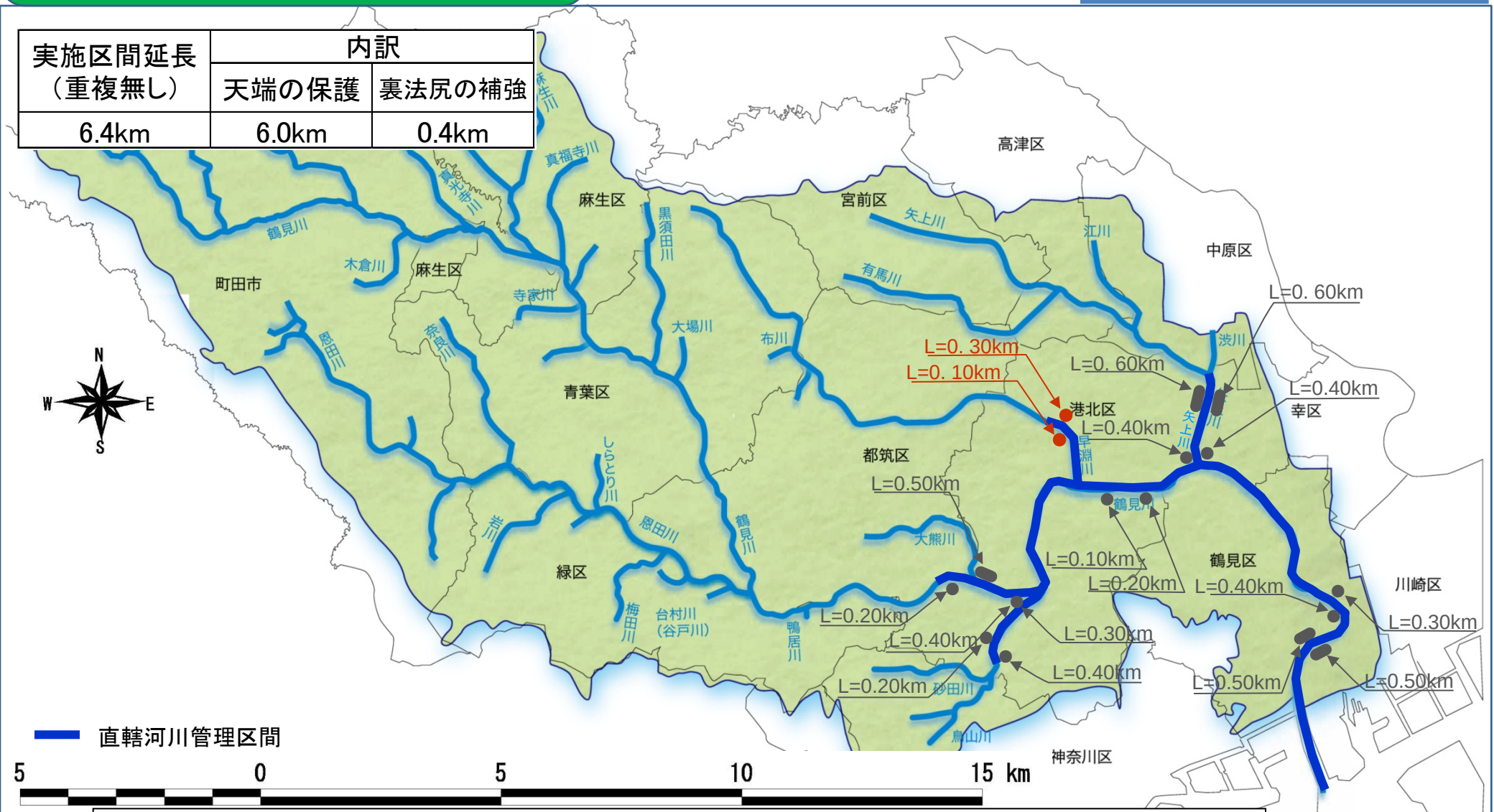
危機管理型ハード対策　概要図
＜鶴見川＞

凡例　天端の保護　裏法尻の補強

実施区間延長（重複無し）	内訳	
	天端の保護	裏法尻の補強
6.4km	6.0km	0.4km



※具体の実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。
※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。
※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。
※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。